

ぎょうだ ふるさと 検定

おめでとう正解です

問題

2644 行田市最古の寺と言われ、門前に天台宗第2代座主「円澄生誕の碑」が建つ寺は次のどれですか。

- ア 大長寺 イ 遍照院 ウ 盛徳寺

正解 ウ

盛徳寺は大同年間(806~810)創建の寺伝を持つ古代寺院で、当時の寺域は現在のやや西方にありました。円澄は埼玉群の出身で27歳の時比叡山に登り、最澄の門に入り、最澄とともに天台宗の発展に尽力し、ついには初代天台座主最澄に続き、第2代座主に補せられました。「円澄生誕の碑」は盛徳寺に建っておりますが、資料では埼玉群出身という事しか判明しておりません。

「盛徳寺は、埼玉山若王院盛徳寺(さきたまざんにやくおういんじょうとくじ)と称し、本尊は薬師如来です。県内でも最古の寺といわれ、この周辺には万葉集で詠まれた小埼沼や埼玉古墳群があり、往時、この地方の中心地であったと思われます。」

行田市ウェブサイト、「旧盛徳寺礎石」(2025年12月12日取得,

https://www.city.gyoda.lg.jp/soshiki/shougaigakusyubu/bunkazaihogo/gyomu/rekishi_bunkazai/1/2322.html

盛徳寺(じょうとくじ)

